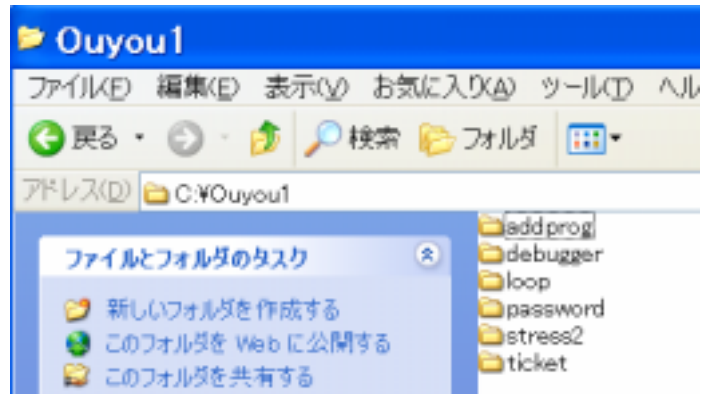


クラスファイルからの実行の仕方

HP からダウンロードしたクラスファイルがあれば、次のような要領で、プログラムを実行させ、動作内容を確認する事ができます。

解凍したフォルダ（例えば「Ouyou1」）を C ドライブのルートディレクトリ（C:¥）に移動させます。他の場所でも良いのですが、操作を簡易にするには、ルートディレクトリに移動させるのが便利です。



このフォルダ内に「C:¥JBuilder7¥jdk1.3.1¥bin」の中にある「java.exe」をコピーします。これで準備ができました。

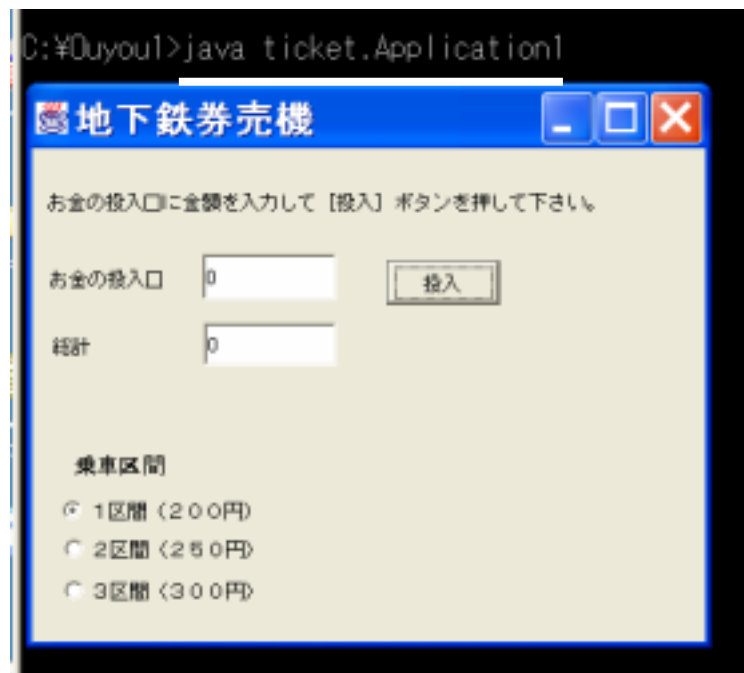
テキスト第 1 章でやったようにコマンドプロンプトを開いて、次のように c ドライブのルートディレクトリに移動して下さい。下線部が入力部分です。



さらに、クラスファイルが入っている「Prog2_1」ディレクトリに移動します。



ここで、たとえば課題 7 の地下鉄券売機のプログラムを動作させるためには、次のように java コマンドを入力します。Enter キーを押すとプログラムが起動します。



クラスフォルダ名（実はパッケージ名）の部分を変更すれば同様に他のプログラムも起動できます。Java プログラムを配布する際には、このようにクラスファイルを渡せば良いのです。